

## インターネット (ibn) と 兵庫デジタルネットワーク研究会

ヤノ電器 (株)  
矢野 孝一\*

ibn と兵庫デジタルネットワーク利用研究会という 2 つのグループの活動について少し説明したいと思います。

まず、ibn とは、震災後に小さな企業も自ら情報発信できるようなメディアを普段から持ちましょう、ということで始まったものです。最初に声を挙げたのが 2 月で、4 月に ibn としての具体的な活動が動き出しました。最初は、組織は持たない垣根の無い連携として、既存の団体や教育機関などいろんな所と連携をとりながらやりましょうということでスタートしました。各種メディアでの情報発信ということで、まず ibn としてのホームページをつくり始めて、パソコン通信あるいは地域新聞などのネットワークを通じて情報発信をしていこうと予定しております。

それ以外にも事業支援として、小さな企業あるいはこれから企業を興そうとする方々を支援することで、情報交換や既存の団体の相互の交流をお手伝いすることができないか、あるいは新しくプロジェクトを起こしてそれを提案するなど、アメリカのスマートバレーインクにならってその一端でもできればと考えております。もう一つ啓発活動なのですが、何回か説明会をやってまいりました。講習会の方も今年からいよいよ本格的に定期的に行っていこうと、今月の末にも予定しております。ほかにも広く企業以外にも向けての啓発活動ということで、情報団という構想をあげまして、情報でもって防災訓練をしようという提案をしております。

ibn として先ずインターネット事業にとりかかった訳ですが、その際に一番気にしたのがコストの問題でした。規模が小さいということもあり、資金的にも厳しいので初期コスト、ランニングコストを下げるということに特に注目しました。共同運用によることでホームページの掲載料を低く抑えようと考えました。回線や ID は安くとれたけれど、実際に情報発信しようとしたら、自分ではできないので専門家に頼むと何十万という単位で広告作成費がかかってしまう。それを避けるために制作をしていただく企業に少し勉強してもらいまして、4 ページの写真や文字が入ったホームページを 4 万円でやってもらうことにしています。これによって初期コストが低く抑えることができると思います。後は企画情報や、いろんなイベント情報も含めて、とにかく沢山の人が見に来てくれるように、いろんな所にリンクさせていただいて相互に乗り入れができるようにして、ibn のホームページを見ていただく機会をつくるというようなことをやっております。内容は、PC サービス・FAX サービス・広告掲載サービス・リンクサービスとあります。やってみてわかったのですが、インターネットが全く始めての方

\*info@yano-el.co.jp

や、安い広告媒体があるなら使って見たいけれどコンピュータには触れたくないという方、他で我々が提供するよりも安くインターネットを利用できる環境にあるので、リンクだけしてくれればよいという方など、いろいろなニーズが出てきて、これにできるだけ対応していること、いろんなサービスが増えて来ています。

現況を簡単にお知らせします。i b nの会員といますか、基本的にはインターネット事業だけですので、そこに参画されている企業数は、18社で、近日参加予定の3社を加えて約20社に参加していただいています。アクセス状況は、起ち上げ当初は月に2万5千回、今は1月当たり5万回に増えて来ております。1社当たりで見ますと各会社のアクセス回数は低いところで100回、多いところで1000回、非常に差が出てきております。さきほど、サービスの形態でもお話ししましたように、非常に多様なニーズ、要望が寄せられるなかで、今後は本格的に皆さんの声にお答えする場を持たないといけないということで、組織、事務局あるいは責任のある窓口を作って再スタートを切ることになりました。

i b nのホームページでは、まず「i b nとは？」ということで、簡単な紹介が入っております。これ以外に、いろんな企業の情報だけではなかなか見ていただけないので、イベント情報であるとか最近の新しい世の中の出来事も盛り込んで、見ていただける機会をつくらうとしています。この中では神戸電子専門学校さんがかかわっておられる北野ジャズフェスティバルであるとか、クリスマスのイベントなどの紹介がされています。こういう形で、いろんなイベント情報を載せ、これらを見ていただきながらi b nの企業リストも見ていただくことと仕掛けを作っております。企業リストは、今まで単純に企業の名前が並んでいるだけだったのですが、余りにも寂しいのと企業の数が増えてきて、下の方がなかなか見てもらえないので、いろいろ手を考えています。まず、4つの大きなインデックスに分けて、例えばイルカ島を押すと約20社の中の5社が出てくるという仕掛けをし、更にここで各企業のボタンを押しますと紹介あるいは広告が出てくる形になっております。

我々ヤノ電器のホームページでは、自社の製品情報を出しています。本当は我々も直販を検討したのですが、何よりも今の取引先のチャンネルを壊したくないという営業サイドの強い要望がありまして、通信販売をしないということにしています。基本的にはお客様へのインフォメーションサービスと一般の市場に流していないようなものを少し販売しております。社員募集もこの上でやっています。今までは専門の紹介会社をお願いしていたのですが、これで募集しましてから、既に約10件位のお問い合わせがありました。未だ採用には至ってないのですが、これは有効だなと感じています。

これ以外に神戸新聞さんの方では、震災に関してインターネットを通じてエールをいただく、電子エールということをされています。その結果約100件ほどエールが集まっていて、これはインターネット上でも掲載されていますし、紙面の方でも掲載されています。また是非お見せしたいのが小林ギムネ製作所という三木市にある企業です。ギムネとは木工用ドリルとか金庫用ドリルの歯の部分のことをいうのですけれども、その部分の工作メーカーさんで、最近i b nに参加されてインターネット上で販売をされています。非常にシンプルなんですけど、ドリルの製品情報ばかりがずらっと並んでいる画面がいくつかありまして、「寸法を決めてFAXいただければ制作をしてお届けします」ということです。小林専務さんがこれをやられているのですが、当面の目標は年間に1本という様なことを非常に控えめに言われていました。現状

としては、これら以外にもいろいろな所がありますけれども実際のビジネスとしては難しく、まだまだこれからかと思えます。

次に、「デジタルネットワーク利用研究会」の説明をします。この会は去年の11月に設立されました。元は兵庫県の事業で尼崎の方にデジタルクリエイティブ工房ができました。その施設を利用して、県内及び関係する中小企業社の方を対象に新しい通信インフラの利用方法あるいは実証実験を行うことを目的にしております。会長は神戸大学の太月先生で、今のところ約10社が会員として参加されております。各参加企業がデジタルクリエイティブ工房にあるサーバに専用線を引きまして、そのインフラを使っていろんな実証実験をやっていく、全体として何かを一つやるのではなくて、まずは各企業がそれぞれのプロジェクトを持って自分たちの実証実験をやることを目指しています。最終的には各自のプロジェクトとは別に共同のプロジェクトもやっていこうと計画しています。この会も非常に安いコストで専用線をひける、運用できるという環境を提案することをしております。簡単ですが、i b nと兵庫デジタルネットワーク研究会の説明をさせていただきました。